板橋区障がい児移動等支援事業 Q&A

本 Q&A に関しては、基本的な場合を掲載しているため、個別事情などがある場合等については、障がい児支援係にお問い合わせください。

【移動支援の外出対象】

- Q.1 短期入所事業所・日中一時支援事業所への送迎に利用することはできますか？..... 1
- Q.2 赤塚ホーム（緊急一時保護施設）への送迎にサービスを利用することはできますか？..... 1
- Q.3 両親の介護があり子どもの通学の送迎ができません。通学に関する利用はできますか？..... 1
- Q.4 利用者ひとりでも外出ができますが、社会勉強として家族以外の人（ヘルパー）と外出させたいと考えています。その場合でも利用することはできますか？..... 1
- Q.5 保育園・幼稚園の送迎に利用することはできますか？..... 1
- Q.6 プールまでの送迎に加えてプール内でも利用することはできますか？..... 2
- Q.7 夏休み期間中に学校のプールに行かせたいのですが、利用することはできますか？..... 2
- Q.8 保護者同伴が利用条件となっている施設でサービス提供することはできますか？..... 2
- Q.9 サービス利用中に、事業者が所有する介護タクシー等に乗車することはできますか？..... 2

【利用のルール】

- Q.10 1日あたりに利用できる時間は決まっていますか？..... 2

【代読等支援】

- Q.11 代読・代筆は自宅内に限定されますか？..... 2
- Q.12 外出先で代読等支援を利用できますか？..... 3
- Q.13 どのような内容でも代筆は可能ですか？..... 3

【ヘルパー派遣】

- Q.14 複数の事業所と契約をすることはできますか？..... 3
- Q.15 ヘルパーの交通費や食費等は、利用者と事業者のどちらが負担するのでしょうか？..... 3
- Q.16 ヘルパーが自分の家族に対して支援を行った場合、報酬の対象となりますか？..... 3
- Q.17 外出の直後に、自宅前にて利用者が体調不良となり、その日の利用がキャンセルとなりました。
その場合の諸費用（交通費等）やヘルパーが従事した時間の報酬は請求の対象となりますか？... 3
- Q.18 目的地でヘルパーが見守る時間は、利用時間数に含まれますか？..... 3

板橋区障がい児移動等支援事業 Q&A

【移動支援の外出対象】

Q.1 短期入所事業所・日中一時支援事業所への送迎に利用することはできますか？

A 短期入所事業所への送迎は介護者がいない、または送迎できない場合に利用できます。
日中一時支援事業所への送迎は事業所の送迎が出来ない場合に利用できます。

Q.2 赤塚ホーム（緊急一時保護施設）への送迎にサービスを利用することはできますか？

A 施設の送迎者がいない場合や介護者が送迎できない場合、利用できます。

Q.3 両親の介護があり子どもの通学の送迎ができません。通学に関する利用はできますか？

A 同居の家族に障がいや疾病のため介護が必要な方がいる場合等、送迎ができない状況を
勘案した上で、利用することができます。

Q.4 利用者ひとりでも外出ができますが、社会勉強として家族以外の人（ヘルパー）と外出させたいと考えています。その場合でも利用することはできますか？

A 利用することができません。移動支援は屋外での移動が困難な障がい児又は障がい者に対する支援制度であるため、社会勉強などは副次的な効果として良いことと考えますが、支援の必要性がある外出でなければ派遣対象にはなりません。ただし、例えば自宅近隣であっても、体調が悪い場合や慣れない場所へ行く場合等、安全な外出が確保できないと考えられる場合は利用できます。

Q.5 保育園・幼稚園の送迎に利用することはできますか？

A 原則、移動支援としての利用はできません。ただし、保護者に障がいがある場合、育児支援のサービスを利用できる場合がありますので、詳細については、所管する地域支援係へ問い合わせください。

＜保護者に障がいがある場合の育児支援サービスについての問合せ先＞

障がいサービス課板橋地域支援係 03-3579-2460

障がいサービス課赤塚地域支援係 03-3938-5118

障がいサービス課志村地域支援係 03-3968-2337・2339

※居住地によって担当の地域支援係が異なります。

Q.6 プールまでの送迎に加えてプール内でも利用することはできますか？

A プール内でも支援が必要な際、施設側での介助員の配置ができないときは利用できる場合がございますので、事業所との契約時に取り決めを交わしてください。なお、マラソン教室等でヘルパーが利用者と一緒に走ることは移動の支援とは判断できないため、原則移動支援の対象外となります。

Q.7 夏休み期間中に学校のプールに行かせたいのですが、利用することはできますか？

A 学校まで一人で行けない、保護者が対応できない等の事情を勘案して、利用の可否を判断します。詳細については、障がい児支援係へお問い合わせください。

Q.8 保護者同伴が利用条件となっている施設でサービス提供することはできますか？

A 保護者同伴でもヘルパーの同行が必要な理由、状況を聞き取りした上で、利用の可否を判断します。詳細については、障がい児支援係にお問い合わせください。

Q.9 サービス利用中に、事業者が所有する介護タクシー等に乗車することはできますか？

A 介護タクシー等の運転手以外に、利用者に付き添うヘルパーが同乗していれば利用できます。

【移動支援の利用のルール】

Q.10 1日あたりに利用できる時間は決まっていますか？

A 1日あたり原則最大 8 時間です。ただし、余暇の移動先が遠方にあり往復に時間がかかる場合等やむを得ないときは、事前に障がい児支援係にご相談ください。

【代読等支援】

Q.11 代読・代筆は自宅内に限定されますか？

A 代読や代筆の支援は自宅内での利用が基本となります。原則、自宅内に限り、移動等支援事業における代読等支援が利用できます。

なお、その他国や都が行う「障がい福祉サービス」の居宅介護でも代読や代筆の支援の利用が優先される場合もあるので、事前に障がい児支援係にご相談ください（家事援助または身体介護等においても代読や代筆の支援を受けられる場合があり、居宅介護において代読や代筆の支援の利用ができない場合に関しては、地域生活支援事業の代読等支援の対象となります）。

Q.12 外出先で代読等支援を利用できますか？

A 外出先での代読等支援は、同行援護サービス（視覚障がいのある方の外出を支援するサービス）の業務内容に含まれていますので、同行援護サービスの中で利用していただきます。

Q.13 どのような内容でも代筆は可能ですか？

A 不動産売買や株式投資等の財産に関するものや、手術の同意書など財産や生命に係わるものでなければ、代筆は可能です。

【ヘルパー派遣】

Q.14 複数の事業所と契約をすることはできますか？

A 契約することができます。ただし、契約した全ての事業所のひと月当たりの利用時間数の合計が、支給決定時間数を障がい児支援係にご相談なく超える場合、超えた分は全額自己負担となる場合があります。また、毎月の時間数の管理は、利用者、ご家族で行っていただきますようお願いいたします。詳細については、障がい児支援係にお問い合わせください。

Q.15 ヘルパーの交通費や食費等は、利用者と事業者のどちらが負担するのでしょうか？

A 事業者ごとに取り扱いが異なるため、契約時に事業所へご確認ください。

Q.16 ヘルパーが自分の家族に対して支援を行った場合、報酬の対象となりますか？

A 家族への支援は報酬の対象となりません。

Q.17 外出の直後に、自宅前にて利用者が体調不良となり、その日の利用がキャンセルとなりました。その場合の諸費用（交通費等）やヘルパーが従事した時間の報酬は請求の対象となりますか？

A 移動支援のサービス費は、現に利用者に対しサービスを提供したものについて、評価をすることになっていますが、その他、サービス利用のキャンセル時において発生する諸費用（従事ヘルパーの交通費等）等については、移動支援の報酬として算定することはできません。

ただし、目的地までの移動後にキャンセルとなる場合等、現に移動支援を提供した場合については、その間に要した時間について、サービス費を算定することができます。詳細については、契約先事業所へお問い合わせください。

Q.18 目的地でヘルパーが見守る時間は、利用時間数に含まれますか？

A 目的地において、常時支援ができる状態で見守る必要がある場合は、利用時間数に含まれます。それ以外の見学や待ち時間は、利用時間数に含まれません。

[問い合わせ]

利用者の支給決定、個別ケースの相談等について

障がいサービス課障がい児支援係 電話 03-3579-2148